

準備会委員紹介 (五十音順)

氏名	推薦団体
阿部 尚義	(社)柏崎青年会議所
桑山 史子	プルサーマルを考える柏崎刈羽市民ネットワーク
小林 洋子	まなびすと in 柏崎
小山 進	刈羽エネルギー懇談会
佐藤 正幸	柏崎原発反対地元三団体
高橋 保司	西山町
武本 和幸	原発反対刈羽村を守る会
田辺 忠弘	柏崎ニューエネルギーリサーチ
田村 寛	柏崎農業協同組合
内藤 信寛	柏崎商工会議所
中沢 洋一	原発問題を考える刈羽西山住民の会
丸山 将孝	刈羽村商工会
宮崎 孝司	柏崎刈羽原発問題を考える地域連絡センター
渡辺 五四六	連合柏崎地協
渡辺 丈夫	西山町

発電所運営の透明性を確保することが再発防止策の一つであり、地域の会へ最大限情報公開していきたい旨の説明がありました。

- これに対して委員からは次のような意見がありました。
- 自治体の人的補強が優先。
- 「信頼回復」というが最初から信頼していない。今回の事態に対して自治体があったってきたことに誤りがあつたからと言うことが第一。

- 事業者の従来の品質監査の制度に問題があつたのか。
- 廃棄物処分が目途も立たないのに原子力発電所は科学技術の粋を集積した人類の英知の結晶というような認識で再発防止という姿勢はどういうものか。
- 立場・目的が違つても住民の安全が守られるような会であれば反対はしないが、事業者の監視のまねごとなら反対。
- この会が行政の迫認機関に

なることを危惧する。
● この会があるから反対派との個別の話し合いを断られるのではと心配。

- 地域振興の立場から推進してきたが、住んでいるからには技術的な安全にも知識を深めてごまかせない姿勢が市民として重要と認識。
- 賛成・反対などいろいろな意見を市民に提供していくような会なら役に立つ。
- 発電所の運転再開に意見を求められることが心配。
- 地域の会に住民が自由に意見を述べ、受け付けられるような体制・窓口を作つて欲しい。
- 安全運転は当たり前であり、会の名称は行政案の「安全運転確保」ではなく、「監視する」とか「安全を確保」でないとは批判的立場の関わる余地がない。
- 国に独立した規制機関が設置され、会の意見の受け止め先になればと思う。
- この会は賛成反対の人が集まって勉強会する場なのか。(それだけでは意味がない)
- 事業者はこの会を利用して

信頼回復に努め、我々が安心できるような印象・姿勢を示して欲しい。

- これに対し、次のような説明がありました。
- 安全確保は事業者が自主的に行い、国が法律に基づき一元的に規制するシステムがうまく機能しなかつた。これをうまく機能させるには情報公開を徹底し、事業者が緊張感を持続させることが必要で、この会で情報をオープンにすることに意味がある。
- 行政だけでは力の足りない部分を皆さんから力を貸して頂くもの。
- この会は発電所存在の可否の議論の場ではない、現実にある発電所の再発防止のために提案したもの。
- 意見や提言を事業運営に反映していきたい。(東京電力)
- 意見や提言は会で1本にする必要はない。
- 将来的にはこの会を自主的に運営するNPO的なものにしてもらいたい。
- 発電所運転再開のアドバイス